

狛江高等学校 令和5年度 教科:地理歴史 科目 日本史B 年間授業計画

教科: 地理歴史 科目: 日本史B 単位数: 4単位

対象学年組: 第3学年1組~8組

教科担当者: (①・④組: 渡邊Ⓜ) (②・③組: 伊東Ⓜ)

使用教科書: 詳説日本史B<山川出版社>

使用教材: 詳録新日本史史料集成<第一出版社> 図録日本史通覧<帝国書院>

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	7 日露戦後の国際関係と日本 イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢 第3章 産業化の推進と国民生活の変化 1 産業革命の進展 2 資本主義の確立とその特色	<ul style="list-style-type: none"> ・日露戦争の国際的影響について理解させる。 ・戦後の植民地支配の推進と諸外国の反応について考察させる。 ・戦後の国内政治・民衆の反応について考察する。 ・明治初期から日清戦争にかけて資本主義の基礎ができた過程を考察させる。 ・日清戦争後から日露戦争後に資本主義国家が確立していく過程を考察させる。 ・近代産業の発展に伴う社会問題(労働問題・公害問題)の発生と政府の対応について考察させる。 	<p>○日露戦争における日本の勝利がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激したことを理解できたか。○日露戦争における日本の勝利がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激したことを理解できたか。</p>	12
5月	ウ 近代の追及 3 社会問題の発生 4 国民文化の形成 5 国民生活の変化 第4章 第一次世界大戦と大正デモクラシー 1 第一次世界大戦と日本の外交	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統的な文化の上に欧米文化を摂取するなど二元性を持って成立した近代文化の特色について、政治・経済・外交などの視点を持って考察させる。 ・交通・通信手段やメディアの発達による生活圏の拡大、産業化の進展による都市人口の増加につながったことを理解させる。 ・第一次世界大戦前後の世界情勢を踏まえて、日本の中国進出、シベリア出兵の経緯を考察させる。 	<p>○日露戦争における日本の勝利がアジア諸国の民族独立や近代化運動を刺激したことを理解できたか。○劣悪な労働条件に対する労働争議の頻発と社会主義運動の高まり、社会運動への政府の対応に着目できたか。○国民が主体的に文化の創造に取り組んできた姿勢を理解できたか。国民生活の変化を大きくつかむことができたか。</p>	14
6月	2 デモクラシーの高まりと政党 3 国際協調と軍縮の進展 4 政党政治の時代 5 大戦中から戦後の経済と社会	<ul style="list-style-type: none"> ・大正期の政党政治のあり方を考察させる。 ・ヴェルサイユ体制からワシントン体制に至る国際的協調体制の進展など国際環境の推移を、日本の立場に着目して考察させる。 ・護憲三派内閣以降、二大政党による政党政治が昭和初期まで続いた意義を考察させる。 ・第一次世界大戦が日本の社会経済に及ぼした影響について、欧米・アジアとの関連に着目して考察する。また、戦後恐慌・関東大震災の影響について理解させる。 ・民主主義的風潮による社会運動の動向を理解させる。 	<p>○欧米からアジアに至るまで広い範囲の国際環境の推移に着目し、第一次世界大戦と日本との関連を理解できたか。○大正政変以降デモクラシー思想の浸透により政党勢力が国民統合の中心的役割を果たしていく過程を理解できたか。○バリ講和会議を機に起こった中国・朝鮮における民族運動の高揚に着目できたか。</p>	16
7月	6 都市化と大衆文化 5章 第二次世界大戦と日本 1 昭和恐慌 2 協調外交のゆきづまり 3 満州事変から国際的孤立へ	<ul style="list-style-type: none"> ・労働者や都市中間層の拡大による大衆社会の基盤の成立に着目し、都市化や国民生活の変化を踏まえて、市民文化の特色について考察させる。 ・関東大震災から昭和恐慌に至る国内経済の動揺について、国内・国外の経済状況と対策に着目して理解させる。 ・国家主義の台頭による軍部の政治的進出を踏まえて、協調外交が挫折していく過程を考察させる。 ○満州事変から国際連盟の脱退に至る日本の国際的孤立の過程について、国内外対応を踏まえて考察させる。 <p>期末考査</p>	<p>○学問・マスメディアなどを、欧米文化の関わりと社会風潮との関連付けて着目することができたか。○金融恐慌・昭和恐慌を取り上げ、背景となる関東大震災・金解禁・世界恐慌との関連を含めて理解できたか。○山東出兵や統帥権干犯問題など軍部の政治的進出を背景に協調外交から積極外交へと転換していく過程を考察できたか。</p>	10
8月	夏季休暇	夏季休暇		
9月	4 軍部の政治的台頭 5 中国との戦い 6 第二次世界大戦と世界新秩序 7 太平洋戦争 8 日本の敗北	<ul style="list-style-type: none"> ・国家主義が高揚するなかで、五・一五事件から二・二六事件にかけて、軍部の影響力が政治面・外交面で増大していく過程を考察させる。 ・日中戦争の勃発から太平洋戦争の突入に至る過程について、国民生活の変化や諸統制に着目して全体主義的な国家体制の進展を考察させる。 ・第二次世界大戦について、国家間の連携やその性格の相違を考察させる。 ・国内の総力戦体制の構築に向け、新体制運動・大政翼賛会などが組織されたことを理解させる。 ・日中戦争の長期化と国際関係の悪化が、米英諸国との戦争に拡大していった過程を考察させる。 ・東南アジア地域における戦争の推移、占領地帯での軍政のあり方と住民の反応について考察させる。 ・戦局の悪化に伴う勤労動員・強制連行・学徒出陣・学童疎開などの措置を考察させる。 ・この戦争がもたらした惨禍に着目して、平和で民主的な国際社会の実現につとめる重要性を認識させる。 ・戦後の世界秩序を踏まえ、占領政策及び民主化政策と、それに伴う諸改革について、その経過と内容を考察させる。 ・戦後政治の動きを踏まえて、集大成となる日本国憲法制定の意義を理解させる。 	<p>○政治家・財界人へのテロ事件や、学問への思想的弾圧などを踏まえ、軍部の政治関与が増大した過程を考察できたか。○日中戦争の長期化に伴いすすめられた戦時体制下の経済統制と国民生活など、様々な角度から考察できたか。○連合国と枢軸国の性格の違いやドイツ・ソ連との提携の過程について考察する。</p>	14

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
10月	6 第二次世界大戦と世界新秩序 8 日本の敗北 (3)現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会 6章 占領下の日本 1 占領政策の展開	・民主主義の定着に向け、教育制度の改革が実施されると同時に、敗戦により日本人の価値観に大きな影響があった点を理解させる。 ・戦後政治の動きと、経済の安定化を求める施策を関連付けて考察させる。 ・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考察させる。 ・連合国による日本の占領が終結したこと、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察させる。	○満州事変・日中戦争から太平洋戦争まで戦域の拡大と性格の相違を考察できたか。○戦争末期における国民生活の荒廃とその背景を考察できたか。○GHQにおける諸政策が、対日占領政策に基づくとともに、日本の国民の戦争に対する反省に支えられて実施されたことに気付くことができたか。	16
11月	2 戦後民主主義の定着 3 政治・経済の発展 4 孤立の回復 イ 経済の発展と国民生活の変化 7章 日本の自立と経済成長 1 55年体制の成立 2 安保体制の日本 3 高度成長の光と影	・東アジア情勢の変化を踏まえ、連合国による占領が終結し、日本が独立した意義を考察させる。 ・連合国による日本の占領が終結したこと、その後の日米関係の継続について、様々な国の立場から考察させる。 ・独立後の日本国内政治について、衆議院を保守・革新の二大勢力が占める55年体制が成立した意義を考察させる。 ・日本の国際連合加盟の経緯を理解させる。 ・自民党内閣が長期継続するなか、アメリカ・大韓民国・中華人民共和国との関係に着目して、日本の外交・政治の動向を考察させる。 ・朝鮮特需による経済復興とその後の高度経済成長について、経済の国際化の側面に着目して考察させる。 ・消費革命による社会の変貌と経済成長がもたらしたはずみである社会問題について考察させる。	○急激な価値観の転換は、混乱を伴いながらも受け入れられていったことを理解できたか。○東アジア情勢の変化と占領政策の転換を日米関係と関連付けて理解できたか。○冷戦構造下の日本で、55年体制により、安定した保守政権が成立した意義を理解できたか。○新安保・日韓基本条約などを取り上げ、外交・政治の再編過程を把握できたか。特需景気の影響などを踏まえ、日本の動きを考察できたか。	18
12月	8章 現代の世界と日本 1 激動する世界 2 国内政治の再生編3 アジア・太平洋地域と日本 4 21世紀の課題	・ドル＝ショック、石油危機を踏まえて、先進国首脳会議が開かれた意義を考察させる。 ・冷戦の終結・ドイツの統一・ソ連の崩壊を踏まえて、世界構造の変化について考察させる。 ・石油危機を乗り越え、経済大国としての道を歩み始めた日本の状況を多面的・多角的に考察させる。 ・1980年代以降の国内状況について、経済状況・地域協力のあり方を踏まえて多面的・多角的に捉えさせる。 ・同時多発テロ以降の国際協力のあり方や、地域環境問題に対して考察させる。	○先進国首脳会議が、その後世界的な問題解決の場となったことに気付くことができたか。○55年体制が崩壊し、政治状況、財政状況などを考察できたか。○バブル経済から平成不況へとすすんだ経済状況などを把握できたか。	12
1月	・文化史・分野史へのアプローチ			14
2月	自宅学習			
3月	自宅学習	自宅学習 卒業		